



ぶらり らいぶらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 198

*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 戦中・戦後のお花見の様子を知りたい。

答) **図書** → **ことばから探す** → **花見** → **164件**ヒットしました。

検索結果が多いときには、調べたいテーマで絞り込みができます。
たとえば、どんなお弁当を作っていたのか、調べてみましょう。

絞り込み検索 → **ことばで絞る** → **弁当** → **9件**ヒットしました。

『聞き書ふるさとの家庭料理 第19巻』(596.21/N97/19) 開架書棚

『日本の食生活全集27 聞き書き大阪の食事』(383.8/N71/27) 開架書棚

桜名所など複数の言葉を組み合わせる複合検索も便利です。

また、書籍だけではなく、写真や新聞記事も参考になりますよ。

『昭和で最も暗かった9年間』(210.7/Ka94) 開架書棚 (写真集)

『新聞集成 昭和の証言15 昭和十六年』(210.7/Sh59/15) 閉架書庫

戦前・戦中のお花見では、歌や踊りなど賑やかにせず、花を見るだけにしよう記された札が会場に立てられることもありました。昭和16年(1941)には、お酒を持参して飲酒することは黙認するが、仮装や騒ぐことは厳しく禁止する内務省の通達が新聞で報じられています。戦後になると、今と同じようにお酒やお弁当をひろげ、宴会が催されている様子が写っている写真が数多く見られます。

🌸 3/18～4/16に、2階ひろばで写真展「桜、誘われ」を開催します。ぜひご覧ください。🌸

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

70年前のこと

35区から22区、そして23区へ

東京都の区が、現在と同じ23区になったのは今から70年前のことです。

それまでは、昭和7年(1932)に成立した東京市の35区が、昭和18年に東京市が廃止された後もそのまま引き継がれていました。

そして、昭和22年(1947)3月15日、35区から22区に整理統合され、特別区となりました。その後、8月に板橋区が練馬区から分離し、東京都は現在と同じ23区になったのです。

統合の前年に刊行された『コンサイス東京都35区区分地図帖 戦災焼失区域表示』は、戦災焼失区域と強制疎開区域が色分け表示されており、区ごとの焼失状況を見ることができます。35区のなかには区内の大半を焼失した区もありました。

戦災被害が大きかった区は人口が激減したのに対し、被害が比較的少なかった区は人口が増加しました。それに伴って財政面で差異が生じる等、各区に著しい差異が生じることとなりました。それらの差異を調整し、地方制度の改正による自治権の拡充に対応できるよう、また各区が自治体としての機能を十分に発揮し、復興再建を計画的に進めるため、整理統合が進められることとなりました。統合にあたっては人口20万人、面積は10平方キロメートルが目安とされました。

【35区】昭和7年(1932)～

麴町、神田、日本橋、京橋、芝、麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川
本郷、下谷、浅草、本所、深川、品川、目黒、荏原、大森、蒲田
世田谷、渋谷、淀橋、中野、杉並、豊島、瀧野川、荒川、王子、板橋
足立、城東、向島、葛飾、江戸川

【統合された区】

麴町・神田→千代田区	日本橋・京橋→中央区	芝・麻布・赤坂→港区
牛込・淀橋→新宿区	小石川・本郷→文京区	下谷・浅草→台東区
本所・向島→墨田区	深川・城東→江東区	品川・荏原→品川区
大森・蒲田→大田区	瀧野川・王子→北区	



◎主な関連書籍

『コンサイス東京都35区区分地図帖(復刻版)』(213.6/To46 閉架書庫)

『特別区 都区調整の十年』(E318/To46 閉架書庫)

『東京の地理がわかる事典』(291/Su96 開架)

—図書室休室のお知らせ—

図書室は平成29年3月1日(水)から14日(火)まで、蔵書点検のため休室いたします。期間中はご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

ぶらりらいぶらりい～図書室にはこんな本があります～ NO.198

2017年2月20日 発行/編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1